

苦戦する子どもたちをどう援助するか

～チーム援助の考え方を活用して～ その2

高知市でもチーム援助の考え方を基盤にした支援体制をとっている学校が多くなり、校内で定期的に支援会議を開いています。今回は支援会議を円滑に進め、援助を促進するためのシート例をご紹介します。

* このシートは、石隈利紀先生から複写の許可を得ています。著作権の問題はありませんので、各学校でそのまま使われてもかまいません。

1 援助チームシート ～情報収集と援助案作成のためのシート～(裏面に掲載)

このシートは、子どもとかかわる人たちがチームで援助する時、子どもに関する情報のまとめと、どのような援助をしていくかを考えるためのシートです。その際、「誰が、いつからいつまで、その子のために何を行うか」を具体的に出し合うところがこのシートのポイントです。

情報収集の記入の仕方

横軸の項目は、援助を必要とする領域を表しています。その領域ごとに「子ども自身の自助資源(よいところ)」「援助が必要なところ」「今まで行った援助とその結果」について情報を収集し、自分の言葉で事実を簡単に記入します。この表を埋めることで「分かったこと」「分からないこと」「したこと」「してないこと」が明確になり、記入するだけでも、子どもへの援助で足りないところが見えてきます。

援助方針の記入の仕方

の情報から、この時点での援助の大きな柱を話し合い、箇条書きで記入します。とりあえずの目標を決め、援助の方針を共通理解することで一貫した援助が可能となり、援助を受ける子どもや保護者に安心感を与えることにつながります。

援助案の記入の仕方

援助方針に添いながら援助案を記入する欄です。チームで話し合う際は、それぞれが自分の立場で「その子やその保護者に何ができるか」を考え、具体的で、すぐにできそうなことを提案するとよいでしょう。ポイントは、次の二つです。

- * 子どものいいところに目を向け、活かす
- * 「私の立場で、私に何ができるか」と考える



2 援助資源チェックシート ～援助資源発見のためのシート～(裏面に掲載)

このシートは、子どもとかかわりのある人たち、すなわち「苦戦している子どもに対し、援助的な機能をもつ人や物などの資源」を発見するためのシートです。

情報収集の記入の仕方

シートの四角内の上方に明記されている援助資源(たとえば友達など)の名前を明記していきます。その際、その子と今かかわりのある人の名前を書き込みます。このシートを活用して子どもにとって必要な人(キーパーソン)を見つけ、援助に加わってもらうことにより、さらに充実した支援ができるようになります。

引き継ぎに利用

小学校から中学校への引き継ぎや、学年間の引き継ぎの際このシートを利用すると、担任が替わっても援助チームのスタートがスムーズに行えます。

<参考文献> 『チーム援助入門』石隈利紀・田村節子 (2003年 図書文化)

『チーム援助で子どもとのかかわりが変わる』石隈利紀・山口豊一・田村節子 (2005年 ほんの森出版)

連絡先: 高知市教育研究所教育相談班 TEL: 088-832-4498・4497

石隈・田村式【援助チームシート 自由版】

<ロールプレイ用>

実施日：平成 年 月 日() 時 分～ 時 分 第1回
 次回予定：平成 年 月 日() 時 分～ 時 分 第2回
 出席者名：母親 ， 担任 ， 養教 ， コーディネーター

苦戦していること (気持ちが悪くて登校できない日が多い。)

児童生徒氏名		学習面	心理・社会面	進路面	健康面
2年1組1番 島 ヒロシ		(学習状況) (学習スタイル) (学力) など	(情緒面) (ストレス対処スタイル) (人間関係) など	(得意なことや趣味) (将来の夢や計画) (進路希望) など	(健康状況) (身体面での様子) など
担任氏名					
情報のまとめ	(A) いいところ 子どもの自助資源	・技術が得意(担) ・目で見て理解する力が大きい(図形問題など得意)(担)	・真面目、几帳面(担) ・仕事を一生懸命行う(担)(養) ・思いやりがある(母)(養)(担)	・高校進学希望(担) ・プラモデルが好き(ガンダム)(母) ・老人ホームの花壇整備が好き(月1回)(ホフンティイ部)	・おおむね健康(母)
	(B) 気になるところ 援助が必要なところ	・学習意欲がみられない(担)(母) ・怠けているように見える(母) ・作文や発表が苦手(担・母)	・緊張が強い(養) ・嫌と言えない(担) ・親や先生の期待をくみ取りすぎる(担)	・進路情報の不足(担)	・ストレスが胃痛や気持ち悪さとして出やすい(医師)(養) ・朝寝起きが悪い(母)
	(C) してみたこと 今まで行った、あるいは今行っている援助とその結果	・登校してきた時にプリント類を渡し、勉強面の不安を聞いている(担)	・家庭訪問を担当が行っている。会えるが、あまり話さない時もある(担)	・特になし	・病院を受診したが「異常なし」の診断(母)
援助方針	(D) この時点での目標と援助方針				
援助案	(E) これからの援助で何を行うか				
	(F) 誰が行うか				
	(G) いつからいつまで行うか				

参照：石隈利紀著 学校心理学—教師・スクールカウンセラー・保護者のチームによる心理教育的援助サービス— 誠信書房

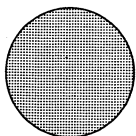
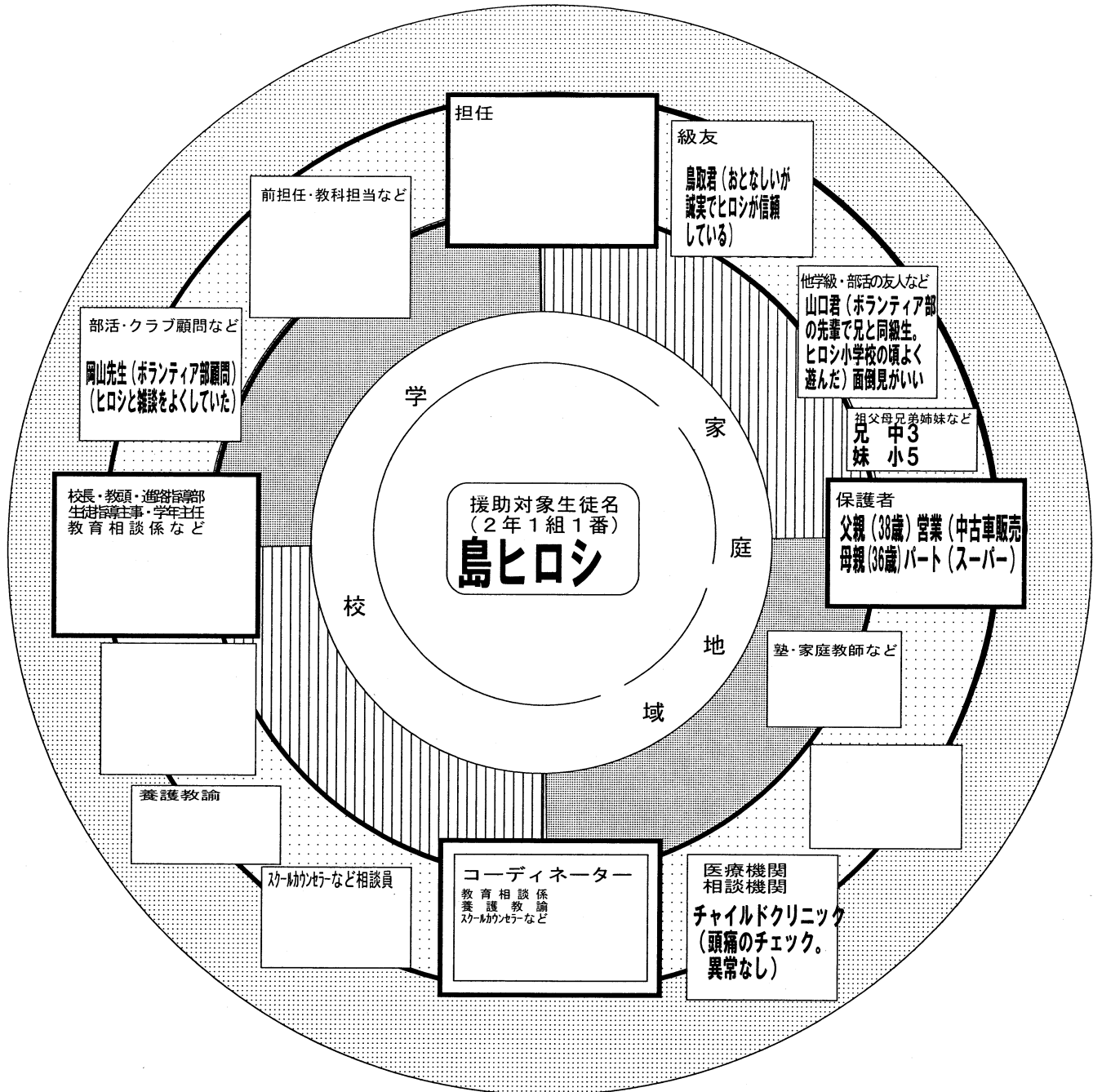
石隈利紀・田村節子共著 石隈・田村式援助シートによるチーム援助入門—学校心理学・実践編— 図書文化

田村・石隈式 【援助資源チェックシート】

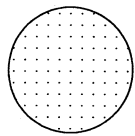
(1997)

ロールプレイ用

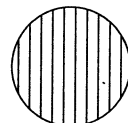
記入日 平成19年6月7日



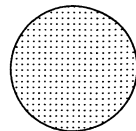
学習面



心理
社会面



進路面



健康面